

第2回 平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会

本協議会における調査事項

その②

令和7年3月27日



①路線バス転換案調査

- ▶ 「鉄道維持案」・「BRT転換案」と比較検討するための「路線バス転換案」を作成するもの

▶ 「路線バス転換案」作成までの流れ

※ ④・⑤については、BRT転換案も同様に調査・検討を実施

① 路線バスの走行ルート案「暫定版」を作成 【県・市町村】

※ 県・市町村で案を作成後、各委員に意見照会（4月頃）

② 次回協議会（5月頃）で、走行ルート案「暫定版」と調査項目※を決定

※ 所要時間、輸送量、必要運行本数、必要な車両や乗務員数、収支見込など

③ 路線バス事業のシミュレーションを実施 【委託】

④ ③の結果を踏まえ、民間事業者に対するサウンディングを実施し、
路線バス事業の市場性や実現可能性を調査 【委託】

⑤ ④の結果を踏まえ、路線バス事業の実施主体を設定

路線バス転換案
完成 【今年秋頃】

②沿線の県立中学・高校生の利用実態調査

▶目的

平成筑豊鉄道沿線の県立中学校・高校に通う生徒について、平成筑豊鉄道の利用状況を詳細に把握・分析する。

▶調査対象校

平成筑豊鉄道沿線の学区内にある県立中学校・高校 計15校

学区	市町村	学 校
1	豊前市	青豊高校
	築上町	築上西高校
	みやこ町	育徳館中学、育徳館高校
	苅田町	苅田工業高校
	行橋市	京都高校、行橋高校

学区	市町村	学 校
11	香春町	田川高校
	田川市	東鷹高校、西田川高校、田川科学技術高校
13	直方市	鞍手高校、直方高校、筑豊高校
	宮若市	鞍手竜徳高校

▶調査方法 We b 調査 【5～6月頃実施】

▶調査項目 別紙のとおり

①鉄道利用状況調査

- ▶鉄道利用者へ乗車時に調査カードを渡し、降車時にカードを回収する方法により、駅間ODを調査するもの
- ▶平成筑豊鉄道(株)が、令和5(2023)年4月に実施
- ▶新型コロナ5類移行後の最新の状況を把握するため、前回と同様の方法により再度実施

②沿線学生の利用状況調査

- ▶平成筑豊鉄道利用者の約4割を占める学生の詳細な利用状況を調査するもの
 - (1) 沿線の県立高校生本人を対象とする調査(学校経由)
 - ➡利用状況等をたずねるアンケートを配布し集計
 - ※ アンケート調査票は次回協議会で議論
 - (2) 平成筑豊鉄道及びJR九州(平成筑豊鉄道の定期券販売窓口)への調査
 - ➡学生が定期券購入時に提出する在学証明書の情報を集計
 - ※ 私立高校生の利用状況も把握可